

I. 各会場等の訓練実施状況について

1) 大鹿村会場

【住民避難訓練】

- ・日 時 : 平成 23 年 7 月 24 日 (日) 6:20~8:00
- ・場 所 : 大鹿村全村 (各自治会の避難場所 (集会所等))
- ・目的 (内容) : 豪雨による土砂災害を想定した自主防災組織による住民避難訓練、情報伝達訓練、避難経路の確認、防災備蓄品の確認、初期消火訓練等
- ・参加者 : 大鹿村自主防災組織班[27 自治会 330 戸 住民 720 名]、大鹿村・大鹿村消防団[40 名]、合計 760 名
- ・実施状況 : 情報伝達訓練で、防災行政無線 (同報無線) の屋外子局を使用し、自治会から村 (災害対策本部) へ避難状況・災害発生状況を報告した。

【ロールプレイング】

- ・日 時 : 平成 23 年 7 月 24 日 (日) 10:00~13:40
- ・場 所 : 大鹿村交流センター
- ・目的 (内容) : 国・県・村が連携し、大規模土砂災害に対応したロールプレイング方式による机上訓練
- ・参加者 : ロールプレイング方式による防災訓練 : 信州大学 (平松教授)、中部地方整備局、天竜川上流河川事務所、三峰川総合開発工事事務所、長野県砂防課、下伊那地方事務所、飯田建設事務所、大鹿村、高森消防署 [約 100 名、見学者 7 名]

へり調査訓練 : 信州大学 (北澤名誉教授)、中部地方整備局、天竜川上流河川事務所、大鹿村

- ・実施状況 :
へり調査訓練に参加された信州大学 北澤秋司名誉教授のコメント :
小渋川流域の土砂災害対策は進んでいるが、小渋川流域には崩壊が多く、土砂生産が活発で、土砂災害の危険性があることが確認された。

ロールプレイングに参加された信州大学農学部 平松晋也教授のコメント :

土砂災害防止法改定後、初めてのロールプレイング訓練であったが、比較的訓練は順調に推移した。このような訓練を継続し、逐次変化にも対応でき、より実践に近づけた内容とすることで、危機に対応できる能力を高めていくことが重要。へりから災害時のリアルタイム画像が配信できるための情報通信インフラの一層の強化を図ることも必要。

大鹿村長の挨拶 :

天然ダムや土砂災害の同時多発という現象 (大規模土砂災害) に対応したローリングプレイング方式による訓練は、当村では、初めての経験だった。住民避難対応や情報連携等の災害対応に必要なメニューを概ね訓練できた。反省点も多いが、今回の結果を今後の防災対応にしっかりと反映させたい。

- ・参考資料 : 当日の訓練の概要は、「添付資料1」を、土砂災害防止法の一部改正については、「添付資料2」を参照願います。

2) 中川村会場

【住民避難訓練】

- ・日 時 : 平成 23 年 7 月 24 日 (日) 8:45~9:45
- ・場 所 : 中川村渡場地区
- ・目的 (内容) : 豪雨による河川災害・土砂災害を想定した住民避難訓練
- ・参加者 : 中川村渡場地区住民[65 名]、中川村消防団[27 名]、自主防災組織、防災関係者 (天

竜川上流河川事務所・天竜川ダム統合管理事務所・伊那建設事務所・中川村・駒ヶ根警察署・伊南行政組合消防本部) [29名] 合計 121名

【上記に引き続き、講習会を実施】

- ・日時 : 平成23年7月24日(日) 10:15~12:00
- ・場所 : 中川文化センター
- ・目的(内容) : 積土のう工法等の水防工法の実習、救急救命講習、災害対策車両の展示・説明、ダム放流に伴う通知の説明を内容とした訓練
- ・参加者 : 上記の住民避難訓練に同じ
- ・実施状況 : 訓練に参加された住民の皆様からは、以下の感想が寄せられました。
 - ・最後まで帰るひとがでず、有意義な訓練となった。
 - ・土砂災害の勉強ができ、大変に良かった。生活のなかにこのような災害への対応を取り入れることが、大切だと思う。

3) 松川町会場

【住民避難訓練・情報伝達訓練】

- ・日時 : 平成23年7月24日(日) 7:00~7:45
- ・場所 : 松川町全町(各自治会の避難場所)
- ・目的(内容) : 豪雨による河川災害・土砂災害を想定した住民避難・安否確認・情報伝達の各訓練
- ・参加者 : 松川町自主防災会[8区会 72自治会 住民約2,000名]、消防団[約150名]、松川町役場職員[約100名] 合計 約2,250名
- ・実施状況 : 情報伝達訓練では、自治会自主防災会から町(災害対策本部)へ避難状況・災害発生状況を報告した。また、町(災害対策本部)・消防団・区会自主防災会では、災害発生現場(仮想)へ出向き、合同で現地確認を行い情報の共有を図った。

4) 天竜川流域防災GIS

【一斉入力演習】

- ・日時 : 平成23年7月25日(月) 13:00~14:00
- ・場所 : 上伊那・下伊那郡下の各市町村役場
- ・目的(内容) : 天竜川流域防災GISの一斉入力演習による操作訓練
- ・参加者 : 上伊那・下伊那郡下のほぼ全市町村役場の防災担当者
- ・実施状況 : インターネットを介した災害時の情報共有ツールとして機能する「天竜川流域防災GISシステム」の入力演習を一斉に行った。システムへの入力の不慣れの解消を目的にしたが、一定の成果が得られた。ただし、訓練の結果を踏まえた事前講習や機能面の改修には、今後も継続して対応し、改良を図ることとします。
- ・参考資料 : 天竜川流域防災GISの概要は、「添付資料3」を参照願います。

Ⅱ. 各会場の実施状況写真

■ 大鹿村会場



ロールプレイングによる訓練の状況（国土交通省 天竜川上流河川事務所 災害対策支部、長野県 下伊那地方部）



ロールプレイングによる訓練の状況（大鹿村災害対策本部）



ヘリコプターによる実働訓練の状況



住民避難訓練の状況



ロールプレイング方式による訓練の状況

■ 中川村会場



水防工法演習の状況（積土のう工法）



救急救命講習の状況（伊南行政組合消防本部）

■ 松川町会場



情報伝達訓練の状況（松川町役場）